

研究計画書

ゼミ名	足立ゼミⅡ	チーム名	足立 Children
タイトル	止まらない日本の人口減少!!		
テーマ群	b) 財政・金融 c) 公共経済		
メンバー	山崎尚哉 木原まりこ 辻亜寿香 杉本貴洸 森本智也 田代歩 猿瀧春佳 田中宏延 吉栄基城		
研究計画内容	<p>近年、日本の人口減少は急速に進んでおり、2014 年には前年よりも 27 万人程度の減少となり、その割合は 21%にも相当する。人口減少の主な要因としては、出生率の低下、未婚率および晩婚率の上昇などの人口要因に加え、女性の社会進出や共働きの家庭の増加といった社会要因が挙げられる。なかでも、女性の就業継続を目指した子育て支援政策の推進が各自治体で積極的に行われており、質の改善が進められている。そこで本研究では政府がこれまで行ってきた子育て支援政策の結果とその改善策としてフランスが行った子育て支援政策との比較、そして改善策について研究している。</p> <p>出生率については、これまで多数の先行研究で論じられてきた。津谷(1999)は、有配偶女性は、希望の子供数と現実の子供数には乖離が生じており、そこには様々な要因があると述べている。宇南山・山本(2015)は、本研究の主眼である出生率と保育所の関係に着目しており、保育所の整備が出生率を増加させていることを示している。</p> <p>そこで、本研究では、厚生労働省「人口動態統計」および「日本における子育て支援施策の変遷」などのデータを使用して日本の人口減少がどのように進んでいったのかを明かしていく。人口減少が急速に進むのは国内に留まらず、中国、台湾、韓国、シンガポールなどの他アジア諸国においても深刻な問題である。本研究の結果は、他のアジア諸国をも抱えている人口問題に対し、具体的な支援政策を提案する一材料となると考えられる。</p>		